



私の約束

自分との「約束」を
教えてください。

1 人は自分を映す鏡である

2 まずは相手を理解する

3 自分で自分を信じる

4 子どもの笑顔を
大切に

5 あきらめずにやれば
道は開ける

6 恐れずに挑戦する

7 人を幸せにすることを
考える

8 可能性を最大限に
発揮する

9 恐れずに幸せをつかめると
やる

10 今、自分がやるべきことを
やる

10 今、自分がやるべきことを
やる

仕事で最高の結果を生み出すために 心がけていることは何ですか？

いかに目の前にいる人を幸せにできるかを考えること、それだけです。アカデミアであれば、教える人たちそれぞれが何を望んでいるのかを見極めて、それを実現するためのヒントを彼らに与えていくことだと思います。どうしても自分の可能性を最大限に伸ばせる道に導かれるのが、最大の幸せをつかみとということを考えてあげることが大切だと考えています。

これから自分をさらに輝かせるために、 どんなことをしていきたいですか？

出産をして感じたことは、輝かすためには努力が必要だということです。外見だけなら服装やスタイルですね。出産前から比べると体重が10キロほど増えたんですけど、母乳が通ったら自分はまた理想の形に戻るんだというイメージを持っています。もちろん内面も外見に出るので内面も大切ですね。幸せであれば輝きが出てきます。人に笑顔、人にやさしさ、本当に誇りを持ったセリアですが、それができる自分である限り、自分は輝いていけると思っています。

10年後、自分はどんな輝き方をしたいですか？

10年後の自分は、もう夢を叶えていると思っています。私の最終的な夢というのは、地球上のすべての子どもたちに笑顔を与えることなんです。子どもほど美しいものはないし、子どもから笑顔を奪い取ることは絶対にないと思っています。きちんとした教育さえあれば、戦争は絶対なくなります。私には「教育はすべての原点である」という理論があるんです。自分で考える力、相手を理解する力を身に付け、平和な生活を送るために、教育が必要だと思っています。私は、子どもたちの可能性、子どもたちの笑顔を守る存在になりたいです。なるつもりです。

未来の自分が今の自分にメッセージを送るとしたら、 伝えたいことは何ですか？

「あなたは今、何を恐れているの？何を踏みとどまっているの？11年前のあなたには怖いものなんてなかったでしょう。情がらずに、自分ができるところのベストを尽くさないで、あなたがたがでること、やるべきことは、目の前にあります。情がらずに自分の可能性を思いっきり使いなさい。相手を理解すること、恐怖心を捨てること、それが今のあなたには必要です」と伝えたいです。

アメリカ留学時代から現在までについて教えてください。

幼いころから日本から出て生活をしたかったんです。それは「世界をもっと知りたい」というその一心でした。高校を卒業してから夢が叶って、8年間海外で過ごしました。アメリカを拠点に世界中を回って、最終的にはペルーの孤児院で1年間教壇をとり、孤児たちと生活を共にしました。そこでいったん海外生活をピリオドを打って26歳で日本に帰国。帰国後にアカデミアを設立して、あっという間に11年間が過ぎてしまいました。この11年間を今振り返ると精神的に成長したと思います。仕事はもちろんですが、結婚したことも大きかったです。

海外で生活することの魅力は何ですか？

マンネリ化した生活の中では、つい目の前にあるものを流してしまおうと、慣れてしまって感性が鈍っている。日々の生活を何となく過ごしてしまうところ。ところが旅行などに行ったりすると、思い出が輝いています。それはなぜかというと、刺激が多い分、インスピレーションをたくさん受けて感性が開くんです。海外で生活してよかったと思うことは、常に感性が開いている状態だったのでたくさんのものが見えて、たくさんのものが見えた分だけ自分自身のことも見えるようになったことですね。

もっとも影響を受けたというペルーでの 生活について教えてください

ペルーの孤児院から、「生きる」ということ、「人として暮らす」ということ、そして「幸せ」というのは何かを教わりました。当時はエッセイをよく書いていたんですけど、その中に「鏡の自分」というものがあるんです。例えばこの世の中に自分しかいなかったとしたら、人は、自分が何者であるか一切わからないんですよ。人と会話をしているときに、相手の反応や視線という「鏡」を通して初めて自分自身の姿が見えてくるんです。ペルーの孤児院と接して、子どもたちの「鏡」に映し出される自分の姿で、自分のことがよく見えるようになりました。

世界中を回って得たものを教えてください。

世界中を回っていた当時は「幸せ探しの旅」だと思っていたんですが、今思い返してみると「自分探しの旅」だったと思います。相手を理解すれば、その自分自身のことでも理解できる。それが、国境を越えた「文化」という単位でも、もっと小さな「人」という単位でも同じ作用が起きるということが分かったんです。そして現地生活をしていたことは、結局人間というのは人種や性別は関係なく、悩みや苦しみを乗り越えていくなかで、みんな自分と戦ってそれを乗り越えて大きくなっていくということが分かりました。

Design that moves your mind

Visual
Communication
Design

Graphic Design Logotype Illustration



グラフィックデザイン・制作
Design JD

〒200-8585 東京都千代田区4-8-6
03-5389@sunny.ocn.ne.jp